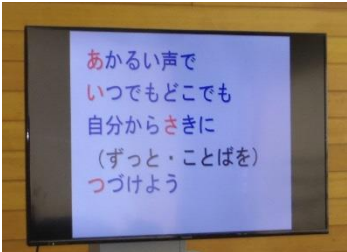





平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【茨城県】

1 実践テーマ	【Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ】
2 実施対象者	古河市立下大野小学校 1～6年 333名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (学級活動・体育)</p> <p>② 行事名 (オリンピック・パラリンピック学習会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>1 イベント名 ()</p> <p>2 その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○講話を聞き、グローバルマナーとおもてなしの心を学ぶことで、他者を受容して、臆せずに積極的に関わろうとする心を育てる。</p> <p>○プロスポーツ選手に実技指導を受けることで、スポーツの楽しさや関心が高まるようにし、生涯にわたってスポーツを続けようとする意欲を育てる。</p> <p>○車椅子バスケットボール選手の話を書くことにより、努力や目標をもつことの大切さについて、理解が深まるようにする。</p>
5 取組内容	<p>① 講師：齊藤 由起子 先生 ・アンガーマネジメントコンサルタント ・コミュニケーションマナー講師 ・スクールコミュニケーションサポート代表</p> <p>② 演題：「オリンピック・パラリンピックおもてなしマナー 想いを形に 心を形に」</p> <p>③ 日時：平成29年9月20日（水）1,2校時5年生，3,4校時6年生</p> <p>④ 講話の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>⑤ 講師：後藤 圭太 選手（Jリーグ「松本山雅FC」）</p> <p>⑥ 内容：サッカー（Jリーグ）やスポーツのお話・質問コーナー サッカーの実演，サッカーの実技指導</p>

- ⑦ 日時： 平成 29 年 12 月 21 日(木)
- 13:00~13:45 [全学年]
 - 13:55~14:35 [5年生]
 - 14:45~15:25 [6年生]

⑧ 講話や実技指導の様子



⑨ 講師：車椅子バスケットチーム「Tochigi レイカーズ」選手5名

- ⑩ 内容：・車椅子バスケットボールやスポーツのお話、質問コーナー
 ・車椅子バスケットボール実演、車椅子児童体験

- ⑪ 日時：平成 29 年 12 月 19 日(火)
 1・2校時〔1~3年生〕, 3・4校時〔4~6年生〕

⑫ 講話や実演・車椅子体験の様子



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○思いを伝えるには、言葉遣いや声の大きさ、言い方など、自分の振るまいが大切になってくることに改めて気づくことができた。 ○プロスポーツ選手の実技はすばらしく、一緒に運動できたことは児童にとってとてもよい体験になり、スポーツに関する関心を十分に高めることができた。 ○車椅子を体験することで、障害をもつ人や車椅子バスケットボールなどの障害者スポーツについて関心を高めることができた。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行を間近に控えた6年生が、宿泊先で自分たちを迎える旅館の従業員の方々の心遣いについて感じられるようにし、修学旅行における体験活動がより深まるようにした。 ○講話についても、技術披露の場や質問コーナーを取り入れて児童の興味が高まるようにした。 ○鬼ごっこ形式などを取り入れ、車椅子体験方法を工夫し、児童の関心を高めることができたこと。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○話を聞く時間が中心にならないように、ロールプレイやクイズを取り入れるなど、児童の興味や理解が深まるような内容にすること。 ○児童の実態等に応じて、実技の内容を工夫する必要がある。 ○講師(選手)の方が複数になる場合、行事の調整が難しくなることがある。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○人権標語や人権作文の作成などを通して「思いやりの心」についての学習を実施。 ○講師先生の言葉を道徳の授業で活用し、夢や努力すること、人の話を聞くことの大切さについての理解が深まるようにする。 ○図書室にあるプロスポーツ選手・パラリンピック関連の本を通して、スポーツの楽しさや素晴らしさについての理解が深まるようにする。 ○車椅子体験をはじめとした福祉体験と関連づけ、障害者スポーツについての学習を取り入れる。